

2008夏 越後妻有 大地の祭り

儀明遙想

はるかたなるおもい

振動する空気・舞い踊る人形・広がる大地

2008年夏、圧倒的な自然の中で現れる、遙かなる想い。



●出演

吉田勘緑 木偶舎 (文楽人形)

横田年昭 (石笛・土笛・フルート)

永田砂知子 (波紋音)

納見義徳 (打楽器)

室野神楽 (地元芸能)

2008. 8 / 31 日 開場14:30 開演15:00

●会場

儀明劇場——倉 (新潟県十日町市儀明)

●料金：一般¥3,500 前売り¥3,000 小中学生無料

●チケット販売場所

●新潟県十日町市：まつだい「農舞台」/越後妻有交流館キナーレ /十日町駅西口ほくほく何でも案内所 /まつだい駅観光案内所 /十日町市本町分庁舎 /他

●東京都：アートフロントギャラリー
〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町29-18

●電話予約：まつだい農舞台事務局
〒942-1526 新潟県十日町市松代3816-1-3F
Tel. 025-595-6310 Fax. 025-595-6311 E-mail tsumari@artfront.co.jp

●主催：NPO法人 越後妻有里山協働機構

●協力：儀明劇場協会 まつだい文楽劇場実行委員会
室野神楽保存会 けやきの会 大地の芸術祭実行委員会

<http://www.echigo-tsumari.jp>



儀

2008夏
越後妻有
大地の祭り



はるかなるおもい

想

儀明劇場—倉

農村の民家を改修し制作された「儀明劇場—倉」は、見渡す限り「人工物」のない風景に向かって突き出したステージを持つ、ここにしかない劇場。

文楽人形遣い吉田勘緑のもと、音楽家、パフォーマー、地域住民が一体となったパフォーマンスを展開します。

夏期、日中の公演につき野外席をご利用の際には帽子などをご用意下さい。また、悪天候などの理由により、やむをえず公演を中止することがございます。あらかじめご了承ください。
※情報はHPにてお知らせいたします

現風景 減風景 源風景

妻有は、儀明は、日本人の人間の原風景だと感じるから、毎年ここで舞台を作ります。一年の半分もこの舞台は雪に埋もれます。

だから沸き上がる、ウネリやウメキや、生へのEnergyが僕を翻弄してくれます。堪える、耐える、絶えない芸能が育ちます。皆さん、是非見てください。神楽は地に拡がり万を辞して天を衝きます。人形は代弁者として憑依します。音楽は包括して悟します。

娯楽に飽きたら、嘘の日本に、自分に飽きたら妻有へ、儀明へ来て下さい。

難しい日本の人間の風景を体験してください。吉田勘緑

【出演者】



吉田勘緑 YOSHIDA, Kanroku — (文楽人形遣い)

人形浄瑠璃文楽座技芸員。木偶舎主宰。文楽人形の可能性を追求し、劇場の枠を越えた独自の野外劇場を企画・演出し話題を呼ぶ。2002年より京都芸術センター専任講師、現在、首都大学東京非常勤講師。主な作品に「母情落日斧」「化身恋終焉」など。05年1月「日・EU市民交流年・東欧・北欧公演」(国際交流基金主催)、07年「平成19年度第22回国民文化祭・とくしま2007」人形浄瑠璃部門・阿波人形浄瑠璃の世界・劇場王国まつりコーディネーターなど、活動は多岐に渡る。



横田年昭 YOKOTA, Toshiaki — (石笛・土笛・フルート)

17歳でプロ入り「猪俣猛とサウンドリミテッド」のソロフルート奏者として活躍した、日本のジャズフルーティストの草分け。現在伊豆稲取に工房をかまえ、自ら製作した楽器を駆使して独自の音楽世界を作り上げ、各地で演奏活動を続けている。作曲家として映画「さらば愛しき大地」でブルーリボンスタッフ賞受賞。その他、山田洋次 時代劇初監督松竹映画「たそがれ清兵衛」に音楽(笛)で参加。



永田砂知子 NAGATA, Sachiko — (波紋音)

東京芸術大学音楽学部打楽器科卒業。クラシックをはじめ、民族音楽、数多くの即興のセッション、美術家とのコラボレーションなど様々な音楽分野を経験する。1997年に鉄の創作楽器・波紋音に出会い、2004年日本音楽療法学会・講習会にて演奏し注目される。現在、波紋音の第一人者として独自の音世界を確立、各地で活動中。

※波紋音(はもんおん)——水琴窟の音にインスピレーションを受けてられた打楽器。鉄を鍛金して、打面に入ったスリットから、いくつもの音を出す。



納見義徳 NOUMI, Yosinori — (打楽器)

「東京キューバンボーイズ」にてプロ入り。1975年キューバ留学、メキシコ・ペルーなどの中南米諸国、アメリカのジャズフェスティバルに数多く出演。現在ラテンパーカッション協会会長。

室野神楽 MURONOKAGURA — (地元芸能)

地元の芸能「室野神楽」。以前には各集落で舞われていた「神楽」も、今ではなかなか目にすることができなくなってしまったが、室野集落では、神楽保存会が結成され村の伝統を伝えている。本公演では、代々伝えられた美しい人形と衣装で獅子舞と踊りを披露する。

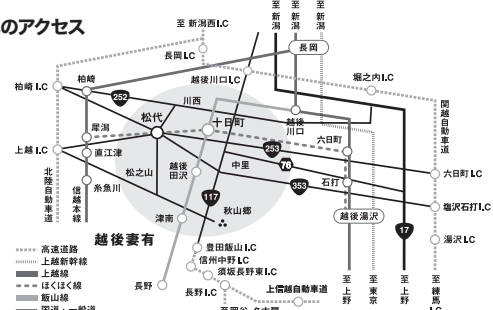
□ 越後妻有へのアクセス

◆ 車で!

新潟から90分、東京から3時間

◆ 電車で!

上越新幹線利用で新潟から80分、東京から110分(越後湯沢乗換・ほくほく線最寄駅、ほくほく線自動乗換) 上越新幹線利用で新潟から80分、東京から110分(越後湯沢乗換・ほくほく線最寄駅、ほくほく線自動乗換) 上越新幹線利用で新潟から80分、東京から110分(越後湯沢乗換・ほくほく線最寄駅、ほくほく線自動乗換) 上越新幹線利用で新潟から80分、東京から110分(越後湯沢乗換・ほくほく線最寄駅、ほくほく線自動乗換)



2008夏 越後妻有 大地の祭り 真夏の里山体験、祭りと現代アート

大地の芸術祭作品・約160作品を公開。アーティストのワークショップや、地元のお祭りとあわせたイベントも開催します。

詳しくは <http://www.echigo-tsumari.jp/>

□ 会期: 2008年8月1日~31日 □ 会場: 越後妻有2市町(十日町・津南町)760km² □ 主催: 大地の芸術祭実行委員会

儀

2008夏
越後妻有
大地の祭り

明

遥

はるかなるおもい

想

儀明劇場——倉

農村の民家を改修し制作された「儀明劇場——倉」は、見渡す限り「人工物」のない風景に向かって突き出したステージを持つ、ここにしかない劇場。

文楽人形遣い吉田勘緑のもと、音楽家、パフォーマー、地域住民が一体となったパフォーマンスを展開します。

夏期、日中の公演につき野外席をご利用の際には帽子などをご用意下さい。また、悪天候などの理由により、やむをえず公演を中止することがございます。あらかじめご了承ください。
※情報はHPにてお知らせいたします



現風景 減風景 源風景

妻有は、儀明は、日本人の人間の原風景だと感じるから、毎年ここで舞台を作ります。一年の半分もこの舞台は雪に埋もれます。

だから沸き上がる、ウネリやウメキや、生へのEnergyが僕を翻弄してくれます。堪える、耐える、絶えない芸能が育ちます。皆さん、是非見て下さい。神楽は地に拡がり万を辞して天を衝きます。人形は代弁者として憑意します。音楽は包括して悟します。

娯楽に飽きたら、嘘の日本に、自分に飽きたら妻有へ、儀明へ来て下さい。

難しくない日本の人間の風景を体験して下さい。——吉田勘緑

【出演者】



吉田勘緑 YOSHIDA, Kanroku —— (文楽人形遣い)

人形浄瑠璃文楽座技芸員。木偶舎主宰。文楽人形の可能性を追求し、劇場の枠を越えた独自の野外劇場を企画・演出し話題を呼ぶ。2002年より京都芸術センター専任講師、現在、首都大学東京非常勤講師。主な作品に「母情落日斧」「化身恋終焉」など。05年1月「日・EU市民交流年・東欧・北欧公演」(国際交流基金主催)、07年「平成19年度第22回国民文化祭・とくしま2007」人形浄瑠璃部門・阿波人形浄瑠璃の世界・劇場王国まつりコーディネーターなど、活動は多岐に渡る。



横田年昭 YOKOTA, Toshiaki —— (石笛・土笛・フルート)

17歳でプロ入り「猪俣猛とサウンドリミテッド」のソロフルート奏者として活躍した、日本のジャズフルーティストの草分け。現在伊豆稲取に工房をかまえ、自ら製作した楽器を駆使して独自の音楽世界を作り上げ、各地で演奏活動を続けている。作曲家として映画「さらば愛しき大地」でブルーリボンスタッフ賞受賞。その他、山田洋次 時代劇初監督松竹映画「たそがれ清兵衛」に音楽(笛)で参加。



永田砂知子 NAGATA, Sachiko —— (波紋音)

東京芸術大学音楽学部打楽器科卒業。クラシックをはじめ、民族音楽、数多くの即興のセッション、美術家とのコラボレーションなど様々な音楽分野を経験する。1997年に鉄の創作楽器・波紋音に出会い、2004年日本音楽療法学会・講習会にて演奏し注目される。現在、波紋音の第一人者として独自の音世界を確立、各地で活動中。

※波紋音(はもんおん)——水琴窟の音にインスピレーションを受けて創られた打楽器。鉄を鍛金して、打面にスリットが入っているの、いくつもの音が出る。



納見義徳 NOUMI, Yosinori —— (打楽器)

「東京キューバンボーイズ」にてプロ入り。1975年キューバ留学、メキシコ・ペルーなどの中南米諸国、アメリカのジャズフェスティバルに数多く出演。現在ラテンパーカッション協会会長。

室野神楽 MURONOKAGURA —— (地元芸能)

地元の芸能「室野神楽」。以前には各集落で舞われていた「神楽」も、今ではなかなか目にすることができなくなってしまったが、室野集落では、神楽保存会が結成され村の伝統を伝えている。本公演では、代々伝えられた美しい人形と衣装で獅子舞と踊りを披露する。

□ 越後妻有へのアクセス

◆ 車で!

新潟から90分、東京から3時間

◆ 電車で!

上越新幹線利用で新潟から80分、東京から110分(越後湯沢乗換・ほくほく線最寄駅、ほくほく線湯沢駅) 詳しくはHPをご覧ください。



2008夏 越後妻有 大地の祭り 真夏の里山体験、祭りと現代アート

大地の芸術祭作品・約160作品を公開。アーティストのワークショップや、地元のお祭りとあわせてイベントも開催します。

詳しくは <http://www.echigo-tsumari.jp/>

□ 会期: 2008年8月1日~31日 □ 会場: 越後妻有2市町(十日町・津南町)760km² □ 主催: 大地の芸術祭実行委員会